
平成21年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成21年3月2日

質問者（質問順）

- 1 酒井 誠 委員（自民党）
- 2 横山 正人 委員（自民党）
- 3 飯田 助尚 委員（民主党）
- 4 斎藤 真二 委員（公明党）
- 5 田中 紳一 委員（民ヨコ）
- 6 宇都宮 充子 委員（無所夕）
- 7 関 美恵子 委員（共産党）
- 8 斉藤 達也 委員（自民党）
- 9 片桐 紀子 委員（無所属）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 酒 井 誠 委員（自民党）

1 横浜サイエンスフロンティア高校について

- (1) 前期選抜の市内合格者の割合及び合格者の男女比はどうか。
- (2) 入学者選抜試験の実施結果について教育長の所感を伺いたい。
- (3) 他の市立高校との建設費比較及びPFIによるコスト縮減の効果はどうか。
- (4) 初年度に行う特色あるサイエンス教育の内容を伺いたい。
- (5) 横浜サイエンスフロンティア高校と小中学校との連携はどのように進めるのか伺いたい。
- (6) 横浜サイエンスフロンティア高校に対する教育委員長の期待を伺いたい。

2 中高一貫教育校について

- (1) 本市が開設する中高一貫教育校の学科についての考え方を伺いたい。
- (2) 設置する高校の選定条件はどのようなものか伺いたい。
- (3) 施設が新しい高校、校舎の延べ床面積が大きい高校の各上位3校を伺いたい。
- (4) 国公立大学への進学実績の上位3校を伺いたい。
- (5) 中高一貫教育校設置の施設・整備面の課題はどのようなものか。
- (6) 平成24年度の開校に向けた今後のスケジュールはどうか。

3 民間人校長について

- (1) 応募の状況と応募者の傾向について伺いたい。
- (2) 選考方法はどのようなものか。
- (3) 採用予定人数について伺いたい。
- (4) 民間人校長の配置先の考え方を伺いたい。

4. よこはま教師塾について

- (1) よこはま教師塾二期生の現在の状況はどうなっているか。
- (2) 学校がとらえる、よこはま教師塾の指導効果について伺いたい。
- (3) 養成に対する学校からの期待や要望はどのようなものがあるのか。
- (4) よこはま教師塾での指導効果を高めるための今後の方針と指導の重点は何か。

2 横山正人委員(自民党)

1 小中学校整備費について

- (1) 予算編成にあたって教育長として苦勞した点について伺いたい。
- (2) あかね台中学校の開校までの整備スケジュールはどうなっているか。
- (3) 整備を進めているうえでの学校施設の特色ある施設は何か伺います。
(要望) この地域は小学校区が広いので、小中一貫校や小学校の分教室なども検討してほしい。
- (4) 元石川小学校第二方面校の整備スケジュールはどうなっているか。
- (5) 元石川小学校第二方面校の整備にあたり、平成21年度に基本設計のみを行うこととした理由について伺いたい。
- (6) 建設地選定についての考え方はどのようなものか。

2 通学区域制度調査検討事業について

- (1) この時期に調査検討を行う理由は何か。
- (2) 調査検討する内容はどのようなものか。
- (3) 学校選択の機会をより一層拡大することについての教育長としての考えについて伺いたい。

3 飯田助尚委員(民主党)

1 横浜の特色を活かす学校教育について

- (1) 横浜版学習指導要領における「横浜らしさ」の位置付けはどのようなものか。
- (2) 横浜市立学校が、行政などと連携を図っている環境教育の取組はどのようなものか。
- (3) 環境教育における「横浜らしさ」のとらえ方と推進方策について伺いたい。

2 開港150周年への小中学校の取組について

- (1) 「開国博Y150」に児童・生徒が参加する意義は何か。
- (2) 「開国博Y150」へ参加する児童・生徒への、費用面、安全面についての配慮はどうなっているか
- (3) 開港150周年を一過性で終わらせないための取組について伺いたい。

3 小中一貫教育について

- (1) 本市の「横浜版学習指導要領 教科等編」で示される小中一貫カリキュラムの内容はどのようなものか。
- (2) 学校での「小中一貫カリキュラム」の編成方法と、編成へ向けた教育委員会の支援はどうなっているか。
- (3) 先進的な「小中一貫教育推進ブロック」における一貫性のある授業づくりに向けての取組について伺いたい。
- (4) 一貫性ある授業の実現に向けた教育委員会の支援はどうなっているか。

4 小学校外国語活動について

- (1) 横浜の小学校の教員が抱えている不安感の状況を伺いたい。
- (2) 教員の負担を減らすための支援はどうなっているか。
- (3) 小学校外国語活動における教材・教具の充実の手立ては何か。

5 「横浜の子どものための礼儀・作法読本（仮称）」について

- (1) 「横浜の子どものための礼儀・作法読本（仮称）」を作成する背景及び活用方法について伺いたい。
- (2) 礼儀・作法が身に付くような環境づくりについての考え方はどのようなものか。

6 「はまっ子家庭学習ガイドブック」について

- (1) 企業広告の入った冊子を学校を通じて配布することについての考え方を伺いたい。
- (2) 公教育の分野では、教育の中立性という点で、共創のあり方について特に慎重に対応すべきであると考えますが教育長の考えについて伺いたい。
- (要望) 企業への誘導とならないよう、適切な対応を強く要望します。

7 方面別（仮称）学校教育センターについて

- (1) 方面別（仮称）学校教育センターで実施する業務はどのようなものか。
- (2) 方面別（仮称）学校教育センター開設によるコスト面の効果はあるか。
- (3) 全市的な取組に対する考え方を伺いたい。
- (4) 方面別（仮称）学校教育センター開設後の事務局業務と果たすべき役割はどのようなものか。

8 校務の情報化について

- (1) 市立学校に対する校務用コンピュータの整備方法、整備状況及び活用状況はどうなっているか。
- (2) 成績処理等校務のコンピュータ処理における個人情報を含むデータの保護対策は何か。
- (3) 今後の校務情報化の考え方はどのようなものか。

9 学校特別営繕費について

- (1) 学校特別営繕費で行う緊急経済対策はどのようなものか。
- (2) 良好な教育環境充実のため、どうしても一定額以上の予算確保は必要と考えるが、教育長の考えを伺いたい。

4 齋藤真二委員(公明党)

1 子どものケータイ利用について

- (1) 子どもの携帯電話利用に関する本市の基本的な考え方を伺いたい。
- (2) 市立学校における携帯電話の取扱方針はどうなっているか。
- (3) 学校や教育委員会の保護者への啓発内容はどのようなものか。

2 小中一貫教育について

- (1) 「横浜版学習指導要領 教科等編」で示す「小中一貫カリキュラム」のメリットは何か。
- (2) 国の学習指導要領と本市の「小中一貫カリキュラム」とのギャップはないのか伺いたい。
- (3) 「小中一貫カリキュラム」を編成するための教師の連携はどうなっているのか。
- (4) 全市で小中一貫教育を展開していく上での教師への負担はどのようなものか。
- (5) 「小中一貫教育」というと「小中一貫校」との誤解を招くので、「小中連携」がよいと考えるがどうか。

3 小中学校一貫英語教育について

- (1) 小中学校9年間の英語教育での子どもの育成のねらいは何か。
- (2) スムーズな小中学校の接続のための方策はどのようなものか。
- (3) 小学校から「英語嫌い」を作らないための方策は何か。

4 いわゆる「学級崩壊」について

- (1) 小学校におけるいわゆる「学級崩壊」の発生状況を伺いたい。
- (2) いわゆる「学級崩壊」の典型的な事例はどのようなものがあるか。
- (3) いわゆる「学級崩壊」の原因や背景はどうようなものか。
- (4) いわゆる「学級崩壊」が子どもたちの心に及ぼす影響について伺いたい。
- (5) 市教委としての改善の方策はどのようなものか。

(6) モデル校の取組が学級崩壊に対して上げている効果の例はあるか。

5 キャリア教育について

(1) 本市における「キャリア教育」を通した子どもの育成についての考え方はどのようなものか。

(2) 「横浜版学習指導要領 総合的な学習の時間編」でのキャリア教育の位置付けはどうか。

(3) 本年度指定している「キャリア教育実践推進校」の成果はどのようなものか。

(4) 平成21年度の取組はどうか。

6 児童生徒によるトイレ清掃について

(1) 児童生徒のトイレ清掃を実施する背景となった児童生徒指導上の課題はどのようなものがあるか。

(2) 児童生徒によるトイレ清掃のねらいは何か。

(3) 児童生徒によるトイレ清掃の課題と対策はどうか。

(4) トイレ清掃推進モデル校での児童生徒や保護者の反応はどのようなものがあるか。

7 学校教育における発達障害への対応について

(1) 特別支援教育実践推進校事業の2年間の取組についての評価はどうか。

(2) 各小中学校における具体的な取組、参考となる事例について伺いたい。

(3) 課題の解決に向けての今後の取組を伺いたい。

(4) 特別支援教育の推進により期待される学校教育全体への効果は何か。

8 横浜サイエンスフロンティア高校について

(1) 開校記念式典の内容はどのようなものか。

(2) 開校初年度の主な学校行事予定は何か。

(3) はまぎんこども宇宙科学館との連携で予定している内容はどのようなものか。

9 親の学び支援事業について

(1) 「親の学び支援事業」のねらい及び進め方はどのようなものか。

1 小中一貫教育推進事業について

- (1) 本市が取り組む「小中一貫教育」のよさはどのようなものか。
- (2) 他都市等で取り組んでいる「小中一貫教育」との違いは何か。
- (3) 全市に「小中一貫教育推進ブロック」の設置後の課題は何か。
- (4) 「小中一貫教育」を推進する際の課題解決への対策はどうなっているか。

2 学校課題解決支援チームについて

- (1) 「学校課題解決支援チーム」の現状はどうなっているか。
- (2) 「学校課題解決支援チーム」の設置による効果はどのようなものか。
- (3) 「学校課題解決支援チーム」の課題は何か。
- (4) 今後の「学校課題解決支援チーム」の取組はどのようなものか。

3 横浜の教育を良くするプロジェクトについて

- (1) 横浜の教育の課題は何か。
- (2) 「横浜の教育を良くするプロジェクト」のねらいは何か。

4 横浜英語村事業について

- (1) 「横浜英語村」の趣旨、事業概要はどのようなものか。
- (2) 外国人講師の活用については、どのようになっているか。
- (3) 小中一貫英語教育の中での位置付けはどうなっているか。
- (4) 事業の効果についての期待はどのようなものか。

5 親の学び支援事業について

- (1) 家庭教育に関する教育基本法改正のポイントは何か。
- (2) 最近使われている、「親学」という言葉の内容はどのようなものか。
- (3) 親の学び支援事業に取り組んだ背景は何か。
- (4) 親の学びを支援するための今後の取組はどうなっているか。

- (5) 今後、「家庭学習ガイドブック」のなかに、道徳教育についても盛り込む考えはあるか。
- (6) 家庭教育を充実するために重要と考えられる、就学前児童の保護者に対する支援の取組について副市長の考えを伺いたい。
- (要望) 幼児期からの一貫して連続した取り組みを、横浜市全体で取り組んでほしい。

6 宇都宮 充 子 委員(無所ク)

1 全国学力・学習状況調査について

- (1) 全国学力・学習状況調査の本市としての捉え、取組及び活用について伺いたい。
- (2) 本市における結果の公表についての考え方はどのようなものか。
- (3) 各学校における過去2か年度の結果の分析・公表状況及びホームページなどでの公表状況の把握について伺いたい。
- (4) 「数値を用いて」説明することの意図は何か。
- (5) 序列化に配慮した公表の仕方とその対策について伺いたい。
- (6) 全国学力・学習状況調査とその結果の公表について教育委員長の認識について伺いたい。

2 はまっ子家庭学習ガイドブックについて

- (1) 協働事業を組むに至った募集方法・選考経過はどうなっているか。
- (2) ベネッセとの役割分担、契約内容はどのようなものか。
- (3) はがきの添付についての認識と個人情報の取扱い、リスク分担はどうなっているのか。
- (4) この冊子掲載の宣伝についてどのように考えているか。
- (5) ガイドブックに対して寄せられた意見はどのようなものか。
- (6) これからの協働事業についてのあり方についてはどのように考えるか。

3 市立高校定時制給食の見直しについて

- (1) 現在の市立高校定時制の給食事情とその課題について伺いたい。
- (2) 市立高校定時制給食の見直しの内容はどのようなものか。
- (3) 給食費に対する市の単独負担を廃止する理由と経済的困窮者等に対する負担軽減措置及びその対象者数について伺いたい。
- (4) 教育委員会としての今後の方向性はどのようなものか。

1 少人数学級について

(1) 低学年サポート事業について

ア 低学年サポートの役割について伺いたい。

イ 平成17年度からの低学年サポートの申請校数と配置校数の推移はどうなっているか。

ウ 低学年サポートの申請校数が増加しているが、100校計画を見直し、増やす考えはないのか伺いたい。

エ 平成20年度の学級児童数別の低学年サポート配置校数について伺いたい。

(2) 35人学級について

ア 35人学級が増えていることについて、教育委員会としての考えについて伺いたい。

イ 35人学級実施のメリットは何か。

ウ 35人学級について、教育委員会として今後、増やす考えはないのか伺いたい。

(3) 少人数学級を横浜市独自で実施する考えはないのか伺いたい。

(4) 横浜市として、踏み込むべきと考えるが、教育長の考えはどうか。

(要望) 少人数学級の実現を強く要望します。

(5) 教員の確保について

ア 教員すべてを正規教員で配置できるよう合格者を確保すべきではないか。

イ 教員採用試験での合格者数はどのように算出しているのか。

8 齊藤達也委員(自民党)

1 方面別(仮称)学校教育センターについて

- (1) 本市の指導主事の配置状況と他の政令指定都市との比較はどうか。
- (2) 21年度の指導主事の体制はどうなっているか。
- (3) (21年度に強化される)指導主事の役割はどのようなものか。
- (4) 22年度の開設に向けた体制の考え方について伺いたい。
- (5) 指導主事の人材確保や育成の取組はどのようなものか。

2 特別支援学校と地域療育センターとの連携について

- (1) 特別支援学校と地域療育センターとは、現在、どのような連携を行っているのか、その内容について伺いたい。
- (2) 生活の質に深く関わる「食事」についての特別支援学校での指導内容はどのようなものか。
- (3) 早い段階での「摂食」指導についての教育委員会の考えについて伺いたい。
- (4) 特別支援学校と地域療育センターとの連携はどうなっているか。

3 小中一貫教育について

- (1) これまでに小中一貫教育に取り組んでいる推進ブロックでの成果は何か。
- (2) 霧が丘小学校・中学校での小中一貫教育の取組成果はどのようなものか。
- (3) 幼保小連携と小中一貫教育の両者を関連づけることについての考えについて伺いたい。
- (4) 幼保小連携と小中一貫教育の両者を関連づけることについての副市長の考えを伺いたい。

4 豊かな心の育成について

- (1) 「道徳教育」についての考えを伺いたい。
- (2) 「道徳教育推進教師」の各学校における役割はどのようなものか。
- (3) 「道徳教育推進教師」に対する支援はどうなっているか。

- (4) 「徳」で示す子どもの具体的な姿はどのようなものか。
 - (5) 「礼儀作法読本（仮称）」の活用方法について伺いたい。
 - (6) 「道徳教育」についての見解について、教育委員長に伺いたい。
- (要望) 道徳教育の推進を要望する。

5 高校における日本史の必修化について

- (1) 横浜市立高校で、日本史を必修化とする目的は何か。
- (2) 神奈川県日本史必修化との違いは何か。
- (3) 大学入試センターでの日本史の受験状況と市立高校の日本史の履修率はどうなっているか。
- (4) 日本史必修化に向けての手順と今後のスケジュールはどうなっているか。
- (5) 日本史必修化についての教育委員長の認識について伺いたい。

9 片 桐 紀 子 委員(無所属)

1 横浜市立高校の英語教育と横浜商業高校国際学科について

- (1) 国際都市横浜にふさわしい語学教育の展開による「コミュニケーション能力の育成」の具体的な取組はどのようなものか。
- (2) 横浜商業高校・国際学科の生徒の語学力の検証と英語力の水準はどうなっているか。
- (3) 横浜商業高校・国際学科のクラス数を増加する考えはないか。

2 英語村について

- (1) 「横浜英語村」の参加者を小学生に限定した理由は何か。
- (2) 日本人教員や外国人講師の役割分担の考え方はどうなっているか。
- (3) 事業の成果はどのように扱うのか。
- (4) 今後の中学校や高等学校への事業拡大の予定はどうなっているか。